

課題分析（アセスメント概要）

健康状態	<p>平成 30 年 8 月 10 日胃がんで胃全摘術施行。入院中は 1 日 5 回(常食 3 回・ゼリ一等の補食 2 回)と分割摂取。一度に食べてしまう等まだ慣れない事から時々嘔吐がある。8 月 27 日左脳梗塞を発症し血栓除去術を施行。術後に高血圧の治療開始。入院中血圧 130/70 程度でコントロール。右上下肢に中度の麻痺、感覚障害、注意力低下、軽度の構音障害があり、リハビリ中。</p> <p>既往：40 歳 ラクナ梗塞 後遺症なし。降圧剤を内服していたが、50 歳頃「治った」と自己判断し中止した経緯あり。今回の入院中は内服出来ている。</p> <p>退院時：身長 172 cm 体重 58 kg(術前 70 kg) 体重減少があり。</p> <p>内服：アムロジピン 5 mg 朝・チクロピジン塩酸塩錠 100 mg 朝夕・ハルシオン 0.25 就寝前</p>
A D L	<p>左脳梗塞右麻痺。</p> <p>起き上がりは手すりを使い自力で行える。車いすを自走し院内移動は可能。屋外は介助されている。リハビリで 1 本杖にて歩行訓練をしているが、ふらつきがあり付き添いが必要。長距離の歩行は不可能。段差昇降も一人では難しい。入浴は看護師の介助が必要。更衣は袖を通す、ズボンの上げ下げは介助が必要。排泄はトイレへ車いすを自走し移動。ズボンの上げ下げを介助すると 1 人で便座に座り、用を足すことができる。しかし、トイレに間に合わない事があり。リハビリパンツを使用。夜間は尿器使用。片付けは出来ない。</p> <p>PT の見解：活動量を上げていけばもう少し筋力が付き、動作も安定する可能性があり。バランス能力の向上ができるかどうかは不明。</p>
I A D L	<p>退院後は妻と 2 人の娘が生活に必要な身の回りの介助をする予定。</p> <p>入院前も家事全般は妻が行っていた。買い物や金銭管理は自分で行うこともあった。簡単な金銭管理は可能な能力があり。電話は使用できる。内服は看護師が手渡した薬を自分で飲む。</p> <p>OT の見解：退院後も麻痺側のリハビリを継続することで自分でできることが増えていく可能性がある。</p>
認知	<p>自分の意見は伝えられ、その場のやり取りは問題なく行える。</p> <p>認知機能は比較的保たれている。</p>
コミュニケーション能力	<p>軽度の構音障害から聞き取りづらい言葉もあるが、こちらが聞き返したり、ゆっくり話してもらう事で日常会話は可能。「言葉が思うように出ない時や相手に伝わらないときはもどかしい気持ちになる。」と本人から言葉がある。</p>
社会との関わり	<p>入院中、同室者や看護師との会話は弾んで社交的。入院前は職場や近所の友人といつも宴会や食事を楽しむ機会があり交流が多かった。「退院後はそのような付き合いも前のようににはできない」と苦笑している。</p>
排泄・排便	<p>排泄、排便機能の低下はなし。</p> <p>尿意・便意はあるが間に合わないことがあるのでリハビリパンツを使用している。排便は 2～3 日おきに出ている。</p>
じょく瘡・皮膚の問題	<p>問題ない。かさつきがある時は保湿クリームを自分か妻が塗布している。</p> <p>入院中も定期的に入浴ができ、皮膚の清潔を保っている。</p>

課題分析（アセスメント概要）

口 腔 衛 生	毎食後歯磨きを行っている。磨き残しがあるので、確認が必要。部分入れ歯があるが自分で洗浄している。嚥下は問題なし。	
食 事 摂 取	1日5食（3回常食・ゼリー等の補食2回）カロリー制限なし。塩分控えめ。仕事柄もともと早く食べる習慣があった。胃術後の食事量1回の量が少なく、口に入れる量が多い為あつという間に食べてしまう。その後嘔吐することもあるのでゆっくりと噛んで食べるように病院より指導されている。食後すぐにリハビリをすると嘔吐がみられる。 入院前はしょっぱいものや味の濃いものが好きだった。お酒も大好きだった。	
B P S D (周辺症状)	なし。	
介 護 力	本人が入院後、妻はパートの仕事を辞めて、毎日身の回りの世話をするため面会に来ている。夫は家族と過ごす時間がとても好きだったので、退院後は自分が介護を頑張りたいと話している。妻から「食事についてもきちんとしたものが作れるのか、それを食べてくれるのかが心配。」「どのくらいの介護が必要でどうすればいいのかわからないので不安が大きい。」と言葉があり。屋内移動、入浴、調理、外出等は妻一人では大変と感じており自信がないとの事。同居の次女は仕事があり介護は難しいが休みが合えば通院等の手伝いはできると話している。長女は別居だが市内に住んでいるので仕事が休みの日は介護に協力できると話している。家族関係は良好。	
居 住 環 境	玄関前に砂利があり 10センチ程度の段差がある。玄関上がり框段差 27 cm、寝室、トイレ入り口に 6 cmの段差。自宅内に手すりはない。	住宅見取り図 段差、手すりの設置状況を記入
そ の 他 (経済状況)	厚生年金。妻もパートをやめている。	